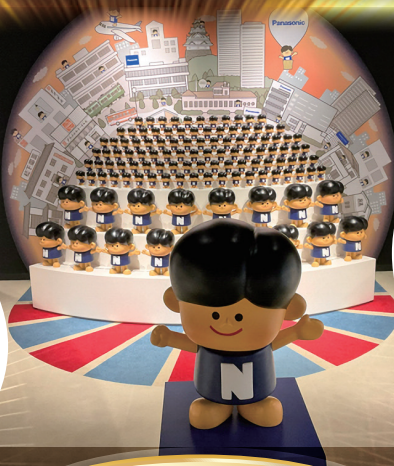


パナソニックミュージアム

「ものづくりイズム館」に行ってきました。

残念ながら昨年12月に閉館になりました。

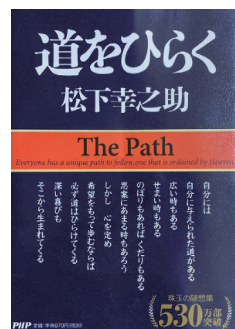
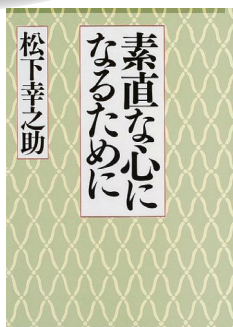


テーマ
『運がよくなる』
いいことば

11月21日、大阪府電気工事工業組合では、
「女性活躍セミナー」として㈱PHP研究所の
會田広宣氏を講師に迎え

= “運がよくなるいい” ことば =
と題して

松下幸之助氏の教えのセミナーを開催しました。
「松下幸之助歴史館」と「ものづくりイズム館」の見学を行い、
参加者もタイムスリップした様でいい経験と勉強になったと満足
されていました。



● ひびき	① 年頭所感
	② 年頭メッセージ
● おしらせ	⑧ 令和7年秋の叙勲・褒章について
● 組合行事	⑨ 第36回電気工事業全国大会(北海道大会)
● ニューリーダー	⑩ ニューリーダー紹介〔和歌山県電気工事工業組合〕
● ひろば	⑪ 大飯原子力発電所 見学会



「年頭所感」



関西電気工事工業会 会長
滋賀県電気工事工業組合
理事長 鹿野 敏夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、2026年の新春をご家族お揃いでお健やかにお迎えいただいたことと、謹んでお慶び申し上げます。

平素は関西電気工事工業会の運営並びに事業推進に各段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は4月から半年間にわたり「いのち輝く 未来都市のデザイン」をテーマに150余りの国と地域が参加したEXPO2025大阪・関西万博が開催されました。

初めて、万博へ出向き大屋根リングから会場を見渡しました時「リング内に世界の国々が一つとなって、多様な文化や民族が混ざり合い、そのエネルギーが結集し、輝かしい未来を築き上げていく」まさにその姿を見たような強い印象を受けました。

当初は何かと問題が指摘され、不安視される向きもありましたが、結果来場者数は2557万人を超え、運営費も最大280億円の黒字が見込まれるなど成功裏に終えることができました。

この間、国内外から多くの人々がここ関西を訪れるなど、近畿の企業の8割以上が経済にプラス効果をもたらしたとの評価を出しており、関西電気工事工業会としても今後の関西経済の発展に大いに期待を寄せるところであります。

このような大きな感動と喜びをもたらした大イベントの成果を今後それぞれの業界において次なる成長へつなげていくことが重要であると感じています。

特に、関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」として、AIやロボティクス、またバイオテクノロジーなど多方面にわたる先端技術の実証は、正直想像を超えるものがありましたが、今後我々電気工事業界にも大きな変革をもたらすものと考えております。

このような未来の創造がある一方、私たちを取り巻く現実の世界は、残念ながら世界各地で紛争は絶えずまた日本が直面するアメリカとの関税問題や米価をはじめとする諸物価の高騰など、内政・外交・安全保障において猶予しがたい状況下に置かれています。

先行きが見通せない社会状況の中、電気工事業界にとって将来を見据えた時、人手不足や高齢化、事業継承、技術革新、業務の効率化など深刻な課題が見えてきます。

滋賀県では、人材確保に向け県内の工業高校生に対し電気工事士の資格取得に向けた講習会の開催や奨学金の給付などを行っておりますが、いずれにしましてもこれらの課題に対しては2府4県の電気工事工業組合の皆様とともに知恵を出し合い、一丸となって取り組んでいかなければならないと思うところであります。

技術進化が加速する時代の流れを読みとり、課題にしっかりと向き合い、何をすべきかを考え、常に挑戦する心で積極的に取り組んでいくことが最も重要であると考えます。

2026年は午年であります。皆様とともに電気工事業界の発展に向け、この一年間エネルギーに駆け抜けて参りたいと思いますので、更なるお力添えをお願いいたしますとともに、各界、各関係団体の皆様におかれましては、今後ともより一層ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、2026年が皆様にとりまして、夢と希望にあふれた輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。日頃より、産業保安行政に対する御理解、御協力に感謝いたします。

昨年、当支部管内では大きな災害は発生しておりませんが、阪神・淡路大震災から30年となることを機に、南海トラフ地震をはじめ、今後近畿地域で発生が予想される地震、津波への備えについて講演会を開催しました。防災の専門家の方々から最新の動向をお伝えすることで、新たな気づきを得られる機会となり、防災力の向上に資することを期待して実施しました。その他、電気、ガス、火薬、鉱山の各産業保安分野について、この一年を振り返り、新年の活動方針を示します。

電気の保安分野については、昨年、当支部管内で、電気事故が60件以上発生し、そのうち死亡事故1件を含む感電死傷事故が2件、発生しております。電気事故の未然・再発防止のため、講習会・ホームページ等を通じた事故情報の発信等の広報・啓発活動を行い、自主保安を推進してまいります。また、近年の多発する自然災害に対して、自治体・関係機関・電気事業者等との連携を図り、停電の早期解消等の社会的要求に対して、迅速かつ機動的に復旧を行い、安心・安全な電気保安の維持・確保に努めてまいります。

都市ガス及びコミュニティガスの保安分野については、昨年、当支部管内で、ガス工事以外の工事（いわゆる他工事）や消費機器の維持管理不備を主な要因とする事故が発生しております。また、LPガスの保安分野についても、他工事に起因するものや一般消費者による誤操作が原因となる事故が発生しております。「ガス安全高度化計画2030」及び「液化石油ガス安全高度化計画2030」の方針に基づき、

両分野での2030年の死亡事故ゼロに向けた安全・安心な社会を実現するために、今後ともガス事業者・関係機関等と連携し、事故防止対策に取り組んでまいります。高圧ガスの保安分野については、噴出・漏えいによる事故が多く発生しております。また、火薬類の保安分野については、煙火消費中やがん具煙火消費中の事故が目立っております。両分野の事故原因の分析や管内各府県等との密接な連携を通じて、事故の更なる減少に努めてまいります。コンビナート防災関係については、昨年、当支部管内で、残念ながら死亡事故が発生しております。引き続き、府県等関係機関と連携し、事故防止に取り組んでまいります。

鉱山の保安分野については、昨年、当支部管内では、鉱業権者、鉱山労働者をはじめとする関係者皆様の一丸となった取組により無災害・無鉱害となりました。しかしながら、全国的には、死亡災害が1件、重傷災害が12件、発生しております。今年は、鉱山保安マネジメントの取組が始まってから20年経過する節目の年になります。危害関係について、「第14次鉱業労働災害防止計画」に基づき、より一層リスクアセスメントの実施と充実化の推進、鉱山保安マネジメントシステムの有効性向上を図るとともに、労働災害として多発している墜落・挟まれ・巻き込まれに係る災害の撲滅に向けて取り組んでまいります。鉱害関係については、「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する第6次基本方針」に基づき、鉱煙・坑廃水等の適切な管理を指導するとともに、鉱害防止事業の着実な実施について、引き続き支援してまいります。

総括しますと当支部は、本年も「強い使命感」「科学的・合理的な判断」「業務執行の透明性」「中立性・公正性」を行動規範とし、「国民の安全の確保

と環境の保全」の実現を目標に掲げ、各産業保安分野について、自主保安を基本とし、関係法令の適正な執行、関係機関との連携、事故情報の提供など各種施策を通じて産業事故を撲滅し、皆様とともに安全・安心を基盤とした地域全体の発展に貢献できる

よう、職員一人一人が全力で取り組んでまいります。

結びとして、令和8年が皆様にとって良い年となりますよう祈念しまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



2026年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。貴工業会の皆さまにおかれましては、平素より弊社事業運営や関西内線工事研究会の活動に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、2025年に開催された大阪・関西万博は、関西地域にとって大きな出来事であり、全国的にも注目を集めました。万博の成功は、関西地域の発展を一層後押しする契機となるとともに、脱炭素社会の実現や安心・安全な電力供給の重要性を再認識する機会となりました。

電力事業を取り巻く環境は、気候変動の影響による自然災害の激甚化や再生可能エネルギーの導入拡大など、多くの課題に直面しております。このような状況の中、電力インフラのレジリエンス強化やネットワークの高度化が求められております。弊社では、AIやIoTなどの先進技術を活用し、効率的な設備保全やスマートグリッドの構築を推進することで、安全で安定した電力供給の確保に向け取り組みを進めております。これにより、地域社会の皆さまが安心して暮らせる電力基盤の整備を進めてまいります。

また、近年の電動車（EV）の普及や蓄電池技術の進展により、電力需要の構造変化やピーク時の負荷対応といった新たな課題が顕在化しております。弊社ではこれらの課題に適切に対応するため、技術開発や設備増強により、再生可能エネルギーの導入を支える送配電網の強化やデジタル技術を活用した

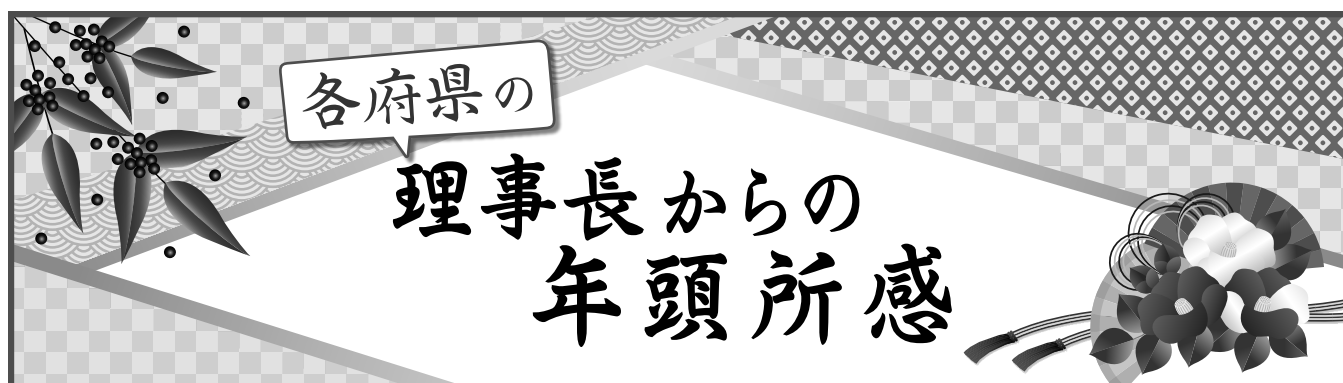
効率的な運用を推進することで、地域全体の発展に貢献してまいります。

2026年を迎え、脱炭素化やデジタル化がさらに加速し、基幹エネルギーである「電気」の重要性がこれまで以上に高まることが予想されます。その中で、私たち電力事業者は、電力インフラを支える高度な技術力や迅速な対応力をこれまで以上に発揮し、社会の皆さまの信頼と期待にお応えする責任を強く感じております。私たちは、安定した電力供給を確保するとともに、時代の変化に即した取り組みを積極的に進めることで、持続可能な未来の実現に全身全霊で取り組んでまいります。

貴工業会の皆さまにおかれましては、長年培われた高い技術力を基に、電気事故の未然防止や新技術の導入・活用に引き続きご尽力いただきたく存じます。また、急速に進む技術変化に対応するための人材育成や技術継承は業界全体にとっても重要な課題であり、工業会の皆さまのリーダーシップが益々期待されるところです。

弊社としましても、これからも貴工業会の皆さまと緊密に連携し、電気を通じて地域社会の発展と持続可能な未来の実現に向けて取り組んでまいります。電力事業者としての使命を果たすため、そして地域の皆さまの安全で快適な暮らしを支えるために、共に歩んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本年が貴工業会にとって実り多き年となりますとともに、皆さまの益々のご発展・ご健康と安全を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



〈ピンチ〉 は 〈チャンス〉
Pinchi は chansu

令和8年（2026年）の新年にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

関西電気工事工業組合所属の皆様方にはお揃いで健やかな新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年は世界中から注目を集めた「大阪・関西万博」が開催されました。多くの方々が来場され感動と希望を与えました。関西の組合員の皆様やご家族も一緒に夢洲の大屋根リングや各パビリオンをご覧になられて感動や驚きを感じたのではないのでしょうか。この経験を大事にし今後の仕事や生活に取り込めれば幸いです。

また、スポーツ界でもアメリカ大リーグの大谷翔平選手のMVPの活躍やプロゴルファーのアメリカLPGAに参戦している岩井姉妹や山下選手など活躍が目立ちました。国内でも大相撲で8年ぶりに日

大阪府電気工事工業組合

本人横綱“大の里”が誕生するなど、明るいニュースの多かった年になりました。

経済状況に目を向けますと、コロナショックから抜け出し、円安もあり日経平均株価は過去最高の5万円を超えるなどの好調が続いています。一方、我々の生活は、コメ騒動などにより生活必需品の価格上昇が続き、日々の暮らしに厳しさが増した一年でした。

さて、我々の電気工事業界は、脱炭素関連設備や省エネなどの需要の増大や蛍光灯2027年生産終了などによる、ストック需要は引き続き好調と思われます。

しかしながら円安の影響もあり銅の価格上昇による電線などの材料費の高騰や、照明器具を中心とした商品価格の値上げなど不安材料があり収益に影響が出てくると思われます。

このピンチをチャンスに変える為、冷静さと柔軟さで切り抜けていきましょう。

また、業界の高齢化や人手不足など課題は引続きありますが、働き方の改革やDXツールの活用などの導入で、業務管理や顧客管理そしてメーカーと連携した提案営業を行って下さい。組合でも「ホームページ」や「メールマガジン」等を活用し、組合の皆さんに技術情報や関連商品の情報発信をしまいたしますので是非、アクセスをして情報収集し仕事に役立てて下さい。

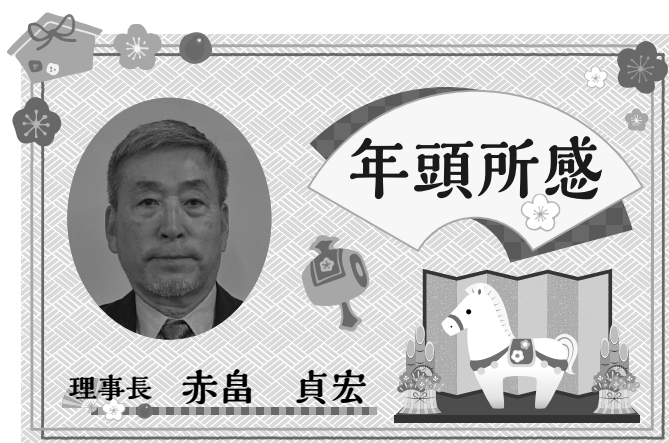
今年の干支は、「丙午（ひのえうま）」、十二支では「午（うま）」の年です。

馬車馬のように働き、勝ち馬に乗りましょう。

そして飛躍の年に致しましょう。

結びに、組合員ならびにご家族、従業員の皆様様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞご支援をお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中に賜りましたご支援・ご協力に、厚くお礼申し上げます。

昨年は大雨、酷暑、竜巻等の自然災害や設備の老朽化による事故が多く発生し、インフラ整備の重要性が実感されました。

電気の安定供給を担う私達は、地域の皆様が安心して暮らせる手助けを、一丸となって取り組む必要があります。組合員一人ひとりには電気のプロであることをしっかり自覚して、安全第一で品質向上に取り組むことが重要です。

しかし残念ながら、不良工事の発生が散見されています。各事業所様におかれましては、行政や関西電力送配電様からの信頼、信用を失うことなく業務に邁進いただきますようお願いいたします。

京都府電気工事工業組合

建設業界を取り巻く環境は、働き方改革、資材費の高騰、人材不足等、依然として大変厳しいものがあります。しかしAIがいくら発展しても、電気工事が無くなることはありません。時代のニーズに即応し、新しい技術を活用、取り入れる等社会に必要であり続ける業界でなければなりません。

電気工事工業組合は組合員のためにあります。今後も引き続き、KEC（京都電気技術専門学院）を活用して、組合員に有効でタイムリーな情報を提供していきます。また青年部、女性部会との連携を一層活発化していきます。

今期が組合創立60周年となります。入会して良かったと実感していただけるよう、組合活動へ真摯に取り組んで参ります。

調査業務・高圧引込開閉器操作業務は安定した収入で、組合運営の大切な財源です。お客様に満足いただけるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

今年は午年です。皆様と共に大きく飛躍して、仕事や生活が大きく向上する年といたしましょう。

結びに皆様の今年一年のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げて、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

●年頭メッセージ



新春を迎え、関西電気工事工業会の組合員の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は大阪・関西万博が盛大に開催され、日本全国及び世界から多くの来場者を迎え、地域の活力と技術力を改めて示す年となりました。また竣工が危ぶまれた各パビリオンも問題なく竣工し、近畿の底力を全国に示す事にもなったと思っています。

兵庫県電気工事工業組合

また万博での最新技術や省エネルギー設備の活用は、私たち電気工事業界にとっても大きな刺激となり、今後の施工品質向上や安全・快適な環境づくりの指針となるものであります。また、情報化の進展や都市基盤の高度化が急速に進む中、確かな技術力と誠実な施工は、社会の信頼を支える重要な要素であります。若手技術者の育成や技能継承の取り組みも、今後ますます重要な課題であり、本会としては研修や交流を通じて支援を強化してまいります。

本年も会員各位が互いに研鑽を重ね、協調しつつ地域社会に貢献できるよう、一丸となって前進してまいりたいと存じます。皆様のご健勝とご発展を心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。





理事長 福本 幸一

新年あけましておめでとうございます。

関西電気工事工業会の皆様には、平素より多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は依然として物流停滞の影響が私たちの業界にも波及し、変化の多い一年でした。私たちも電気工事業界をとりまく環境の変化に常に適応し、技術や方法論の見直しを迫られました。

しかし、その一方で、デジタルトランスフォーメーションの進化や、再生可能エネルギーへの関心の高まりといった新たなチャンスも生まれました。これらの変化をチャンスと捉え、業界の発展に繋がっていきたいと考えています。

話は変わりますが、奈良県にとって昨年一番のニュースは、憲政史上初の女性首相に高市早苗氏が就任されたことでした。

奈良県電気工事工業組合

奈良県出身初の首相でもあり、とても誇らしく思います。

さて、新たな年を迎えるにあたり私たち組合員一人ひとりが持つ技術力と創意工夫がより良い地域社会を構築すること、電気工事が単に電気を通すだけでなく、暮らしの質を向上させる重要な役割を担っていることを再認識し仕事へと繋げていきましょう。加えて、環境への配慮、持続可能な未来を築くためのエネルギーの効率化や省エネ技術の導入は不可欠であり、私たちの業務を通じて未来を先導する存在になれるよう、一層の努力を重ね、新技術の習得や情報の共有を進め、業界全体の底上げに寄与する活動を行ってまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、社員や家族の健康管理をこれまで以上に重視し、安心して働ける職場環境を作りましょう。安全防止対策や職場環境の整備は業界全体の発展、業績向上にもつながります。

令和8年は私たちにとって新たなスタートの年、挑戦の年として、一緒に歩んで行きましょう。皆様の活躍を心より期待し、皆様にとって充実した年となることをお祈り申し上げます。



● 年頭メッセージ/おしらせ



新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年、6ヶ月間開催されました大阪・関西万博も初めは色々問題があったようですが無事終了いたしました。また女性初の総理大臣が誕生しましたが、なにやら波乱万丈のようで話題には事欠きません。

最近の新聞紙上を賑わせている人工知能（AI）による労働代替が始まり雇用を奪われると言われてます。現実、米テクノロジー企業の一部では人員削減が行われているようです。

生成AIは人間の仕事を奪うのでしょうか。

和歌山県電気工事工業組合

技術革新が起き新たなテクノロジーが登場して消滅した仕事は我々の身近にも沢山あります。高速道路の料金所や駅の改札など今まで人が介在していた所に人がいません。例を挙げればきりがありません。その人達は新たな仕事に就いているのでしょうか。

NTTでは5年後に業務の半分以上をAIで担えるようになるとの事、社員の雇用を奪うものではなく人手不足を補う存在だと説明されているようです。

しかし、人間にしかできない仕事は必ず残ります。これからはAIを道具としていかに使いこなせるかが我々に問われるでしょう。

電気工事業界の分野でも関係ないとは言えないでしょう。技術革新が進めば、現時点で想像できない事が起こるかも知れません。それが生成AIなのでしょう。取り残されないように個のスキルアップに励まなければならないと思っているこのごろです。

結びに、本年も皆様方の更なるご活躍ご健勝を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年 秋の叙勲・褒章について

令和7年秋の叙勲において、
京都府電気工事工業組合前理事長の、

植田 隆夫氏が永年の功績により
「旭日双光章」を受章されました。

受章おめでとうございます。
今後のご活躍を祈念申し上げます。

◇ 伝達式 令和7年11月21日(金)



氏名	会社名	所属工組名	役職名
植田 隆夫	株式会社 植田電機	京都府電気工事工業組合	前理事長

(敬称略)

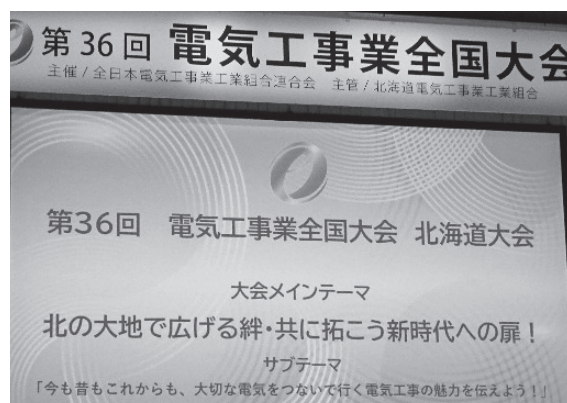


式典会場

令和7年10月15日(水)・10月16日(木)、札幌市教育文化会館、グランドメルキュール札幌大通公園を会場として、第36回電気工事業全国大会(北海道大会)が、開催されました。

“北の大地で広げる絆・共に拓こう新時代への扉！”を大会メインテーマに始まった大会は、1日目（10月15日）の午後からは、グランドメルキュール札幌大通公園3階の会場において意見交換会が開催され“大地に輝く希望の灯り ～次世代へ誇りを繋ぐ電導師たち～”をテーマとして活発な意見交換がなされました。

2日目の午前の部では、グランドメルキュール札幌大通公園3階の会場において「組合活性化研修会」優良事業事例の発表が行われました。午後からは、会場を札幌市教育文化会館に移し大会式典が行われ開会宣言に始まり、米沢会長の挨拶、来賓挨拶、各種功労者表彰と式典は流れて行き、第7回優良事業工組表彰では、兵庫県電気工事工業組合が特別賞を受賞されました。



大会テーマ



第6回電気工事技能競技全国大会説明
技能競技委員会 鹿野委員長

その後、「青年部優良活動」及び「意見交換会」の発表、大会決議が行われ、第6回電気工事技能競技全国大会の紹介、次回開催地（中部・静岡）の紹介があり閉会となりました。

大会後の交流会では、北海道の美味しいお酒をいただきながら懇親を深め、和やかな中、名残を惜しみながら盛会のうちにお開きとなりました。



前夜祭の様子

ニューリーダー紹介

和歌山県電気工事工業組合 協栄電気株式会社 萩平 智昭
青年部連合会 会長 代表取締役



●ご挨拶

大西前会長の後を受け、昨年5月に和歌山県電気工事工業組合青年部連合会会長に就任させていただきました。

本青年部連合会は、和歌山・海南海草・日高・田辺・那賀・橋本伊都の6支部の青年部からなる連合会であり、第45期となる2025年度は59名でスタートを切らせていただきました。

長きにわたり本青年部連合会を支えてきてくださった方々に感謝を申し上げますとともに、内外の方々のご意見、ご要望にしっかりと耳を傾けながら、皆様のお役に立てるような活動をしていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

●ニューリーダーの思い

私は「あらゆることに感謝し、ひとを育て、社会の役に立つ」を経営理念としております。この理念の下、組織の長として自社の社員を思うのと同様に、組合員の皆方を思い、行動してまいります。

青年部活動をさせていただくにあたり、常に相手の立場に立ったより良い方法への創意工夫、組合員の皆様同士がお悩み事を相談し合えるような環境作り、本青年部連合会の存在意義の確立に取り組んでまいります。

会社概要

会社名	協栄電気株式会社
設立年月	昭和37年5月
会社所在地	和歌山市東長町7丁目15番地
主な事業概要	電気設備工事
代表者	代表取締役 萩平 智昭
資本金	2,000万円
社員数	12名

プロフィール

① 年齢	44歳
② 星座	うお座
③ 血液型	B型
④ 住所	和歌山市北汀丁
⑤ 家族構成	妻、娘(9歳)
⑥ 趣味	ゴルフ
⑦ 家族へ一言	いつもありがとう！
⑧ 座右の銘 (または好きな言葉)	正直、忍耐

KEEP LIGHTING
YOUR FUTURE

KYOEI INC.





大飯原子力発電所 見学会

京都府電気工事工業組合 副理事長 平尾 憲 正

皆様こんにちは、今期新しく京都府電気工事工業組合の副理事長を拝命いたしました平尾憲正でございます。

私は当組合が運営しております職業訓練法人KECの学院長も任命されており学院生徒の募集及び経営と日々忙しい毎日をおくっております。

職業訓練校でするので年齢及び職業の違う生徒が同じ教室で勉強し会話しているのを見ていると微笑ましいですし、これは一つの社会勉強になっていると思えます。それに近年女性の生徒も入学してくれる様になりました。

当校は職業訓練校でするので修了時には第2種電気工事士の免許は取得できますが、せっかく1年間も学校に通学するのでから第1種電気工事士の資格試験での取得までサポートしております。

このたび関西電力様のご協力により学院生徒たちと7月に大飯原子力発電所を見学した模様を報告させていただきます。

当日 組合理事長及び訓練校理事長筆頭に学院生、卒業生、事務局を含む19名（うち現在の学院生7名）バスにて発電所に向けて出発、見学となりました。

実物の原子炉は外部のみ内部はデジタルスコープによりバスの中からの見学、その後実習棟に移動原子力発電にかかわる実務トレーニング室を見学しました。

実際の制御室と同じ機器が揃えられておりビックリ。特に私の興味がわいたのは燃料棒取替訓練に使用するプールでした。原子炉の中はこんなかとびっくり。そして頭によぎったのが「福島第一原子力発電所でのメルトダウンはこの水が無くなったのか」と。これから原子力発電所が再稼働されていくと思いますが原子力はまだ未知の部分が多くあるように思います。

資源を外国から頼っている日本。太陽光発電も環境破壊と言われている近年、電気はこれからますます必要になっていきます。今流行りのジェミニなどはすごい数のコンピュータが稼働しているとか。領土の少ない日本これからどうなるのでしょうか。



大飯原子力
発電所燃料棒
格納プール



集 合 写 真

でんせつ

でんせつ編集委員会

発行日／2026年1月 第220号

発行／関西電気工事工業会(2府4県)
大阪市北区本庄東2丁目3番38号

TEL 06(6371) 5534・FAX 06(6371) 2338

発行人／鹿野 敏夫 事務局 藤澤 幸夫

委員長	新舎 洋
委員(大阪)	尾崎 宏夫
委員(京都)	平尾 憲正
委員(兵庫)	盛 康弘
委員(奈良)	枅田 幸吉
委員(滋賀)	内田 誠
委員(和歌山)	吉川 幸夫

発行部数 6,040部 年4回(1・4・8・11月)発行

2026

NO.1

令和8年初春号(季刊発行)

発行所 関西電気工事工業会